

ブン・サムナンさんとソク・ソム・ウアンさんのためにアクションを！



皆さんは、無実の罪に問われ投獄されているカンボジアのブン・サムナンさんとソク・ソム・ウアンさんの事件をご記憶でしょうか？

彼らは2004年1月22日に起きた著名な労働組合活動家チア・ヴィッチアさんの殺人事件で殺人罪に問われ、2005年8月1日に20年の禁錮刑を受けています。しかし、この事件の捜査には重大な不備があったことが分かっており、裁判も国際的な基準に照らして極めて不公正でした。さらに、2人には事件当時にはアリバイがあります。検察は2人に「自白」を強要させただけで、事件の直接的証拠は何も提出していません。

アムネスティを始めとした国際的な人権団体がキャンペーンを実施したため、最高裁判所は2008年12月31日に2人の保釈を認め再審を指示しました。しかし、昨年12月27日の控訴審では、新たな証拠が何もないにも関わらず、一審判決を支持し、彼らを再び留置所に送り返しました。この結果は誰も予測していなかったため、国内外の活動家には大きな衝撃を与えました。

現在この事件は、とても重要な局面に差し掛かっています。というのも、カンボジアは今年の7月28日に選挙を控え、現与党は、目下、人びとの票集めに躍りになっています。人びとの声に耳を傾ける今こそ釈放を訴える絶好のタイミングです。そこで、アムネスティでは大々的なキャンペーンを企画します。皆さん、ぜひ参加をお願いします。

陳光誠さんをゲストとして迎えました



アムネスティは、世界各国の人権状況を毎年1回年次報告書にまとめて発表していますが、今年の発表に合わせて米国で開かれた記者会見に、ゲストとして陳光誠さんと妻の袁偉静さんをお迎えました。

挨拶に立った陳さんは、これまでアムネスティが取り組んできた一連の支援活動に対して、感謝の意を表しました。また、中国で人権擁護のために活動する人びとについて触れ、彼らの勇気ある活動やその意義、常に直面しているリスクの現実などを語ってくれました。

中国では毎年、莫大な予算が、治安維持につぎ込まれています。陳さんはその事実を挙げ、中国における人権状況を改善するためにアクションの重要性を指摘しています。各国政府やメディア、人権団体などを含めた国際社会が、中国国内の人権侵害に対して強い姿勢で臨むことが何よりも重要だとのことでした。中国政府はいかなる批判にも屈しないという姿勢をとっていますが、押し寄せる批判は中国政府に大きなインパクトを与えています。そして、アムネスティを始めとした人権団体に、引き続き中国政府に対して活動を展開するように求めました。

講演の様子は、今後皆さんに映像としてご覧頂けるように準備しています。講演後、陳さんは内外のメディアの取材を受けていましたが、変わらぬ注目度の高さをあらわしていました。

タンアンさんの家族のためにアクションを！



ビルマ（ミャンマー）のタンアン博士は西ビルマのラカイン州マウンドーで起きた暴動に関わった罪で11年の懲役刑を受けました。

しかし、目撃者によると、暴動の日、タンアンさんは暴徒を鎮めようと呼びかけました。アムネスティは、タンアンさんがムスリム社会の指導者であるが故に無実の罪を着せられた、良心の囚人であると考えます。現在、腫瘍を患っていますが、この状況下では、十分な治療が受けられない可能性もあります。

アムネスティでは、大変つらい状況にあるタンアンさんの家族に励ましの手紙を書くキャンペーンを始めました。7月中旬までの予定です。1人でも多くの皆さんのご参加をお待ちしています。検察は4月の再審で現在の刑は軽すぎるとし、結局、懲役が11年から17年に長くなったため、家族の懸念はさらに強まっています。

私たちの励ましをメッセージにして、タンアンさんの家族に送ってください。言語は英語またはビルマ語でお願いします。宗教的なメッセージは避けてください。

なお、家族の皆さんが当局から特別の注意を向けられないよう、郵送物はまずアムネスティ国際事務局のビルマチームにお送り下さい。その後、家族の方々にお渡します。

郵送先はこちらです。

Dr Tun Aung's Family
c/o Myanmar Team
International Secretariat Amnesty International
1 Easton Street London, WC1X 0DW, UK

電子メールの場合：aohanlon@amnesty.org
※件名は、"solidarity message for Dr Tun Aung's family"として下さい。

緊急行動 ～グッドニュースとその後の進捗

〔コソボ〕暴行を受けた人権活動家ナズリ・バラさんの安全確保を求めるアピール文を送った人たちに、コソボ首相から返事が届きました。

以下、概要をお伝えします。「バラさんのことをご心配いただき、ありがとうございます。当局も、今回の事件を優先的に捜査し、容疑者を特定し、真相を解明することに全力を挙げています。バラさんが帰国した際には、犯人逮捕に向けて詳しいヒアリングを行います。国内の人権状況の改善に向け、人権活動家や関係NGOとも協力して努力していく所存です」



〔パプアニューギニア〕

今年4月に「魔術行為」をしたとしてコミュニティの住民から暴行を受け、拘束されていた女性とその3人の娘が無事解放されました。彼女たちは受けた暴行で体中傷だらけだということです。同じコミュニティでは4月4日に人権活動家の女性教師を「魔術行為」で殺害しており、今回も3人の殺害が危ぶまれていました。

今回の件について、世界中から抗議を受けた当局は、本腰を入れて3人の救出に動いた結果、今回の解放が実現しました。現在は、3人とも医者診断を受け安全なところに移されているということです。

UA ニュース

発行：アムネスティ・インターナショナル日本
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-12-14 晴花ビル 7F
TEL: 03-3518-6777 FAX: 03-3518-6778

E-mail: uaoffice@amnesty.or.jp

UA 年会費 3000 円

郵便振替 00120-9-133251

加入者名 公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本